

- 1 審議会名 武石地域協議会
- 2 日 時 平成 21年 11月 26日 午後 7時 00分から午後 9時 00分まで
- 3 会 場 武石地域自治センター 2階会議室
- 4 出席者 新井繁雄委員、井出守雄委員、伊藤隆子委員、上野正司委員、木下文雄委員、木下幸光委員、清住章雄委員、佐藤栄作委員、小山洋江委員、桜井敏昭委員、城下ゆかり委員、高田忍委員、中嶋和夫委員、橋詰真由美委員、増子カオリ委員、松代典之委員、依田せつ子委員(欠席者 3名)
- 5 市側出席者 宮下センター長、広川地域振興課長、山口市民生活課長、犛山産業観光課長、近藤健康福祉課長、桜井建設課長、伊藤教育事務所長、掛川主任
- 6 公開・非公開等の別 公開
- 7 傍聴者 0人 記者 0人
- 8 会議概要作成年月日 21年 12月 3日 作成部局課名 武石地域自治センター 地域振興課

協 議 事 項 等

- 1 開会(広川課長)
- 2 会長あいさつ(桜井会長)
- 3 センター長あいさつ(宮下センター長)
- 4 報告事項
 (1) 上田市消防団第 8方面隊 分団組織の再編について
 (会長) それでは、報告事項「上田市消防団第 8方面隊分断組織の再編について」行政から説明をお願いしたい。
 (地域振興課長) ~資料に基づき説明~
【説明要旨】
 <分団組織再編の背景>
 近年、各分団において新入団員の確保が難しい状況になっており、今後、少子高齢化等で若年人口の減少が進むとますます団員の確保が困難になり、武石地域内における消防力の低下が懸念される。上田市消防団第 8方面隊では、将来的な消防力・組織力の強化を図るために分団統合が必要であるとの意見で全分団が一致し、平成 22年 4月の統合に向けて平成 20年 4月から検討を進め、9月には自治会長へ報告し統合に関する承認を得た。

< 統合に向けての経過 >

平成 20年 4月	・分団の防災拠点施設(詰所)整備計画により、各分団の管轄区域内に 1カ所の拠点施設を設置するための位置について調査検討を開始(随時会議を開催)
11月	・各分団の拠点施設について検討する中で、団員確保が難しいため分団統合についての提案があり、拠点施設の計画と平行して分団統合についても検討を開始
平成 21年 4月	・分団統合・分団防災拠点施設整備計画調整会議(4月以降毎月 1回開催)
8月	・第 5回調整会議で分団名称・定員(案)を決定 武石第 1・2・5分団が統合 武石東部分団 定員 80名(現 116名) (鳥屋・沖・藪合・中島・七ヶ・小沢根・余里) 武石第 3・4分団が統合 武石西部分団 定員 65名(現 78名) (片羽・堀之内・市之瀬・下本入・権現・下小寺尾・上小寺尾・唐沢・築地原・

	大布施楽栗・西武) ・各分団による自治会への説明会の開始
9月	・上田市消防委員会へ諮問(消防団員の定数改正について)
10月	・上田市消防委員会から答申
11月	・武石地区自治会連合会へ第8方面隊長から説明、報告 ・武石地域協議会への報告 ・今後は、統合する分団と管轄自治会における調整項目について協議を進める
2月	・上田市消防団の定員改正の条例案を3月市議会定例会に提出の予定 議決されれば4月から運用

【質疑・意見】

(会長)このことについて、質問や意見があれば、お出しいただきたい。

- 特になし -

5 会議事項

(1)平成22年度予算要求の概要について

(会長)それでは、会議事項「平成22年度予算要求の概要について」各担当課長から説明をお願いしたい。

(各担当課長)～資料に基づき、主な予算要求概要を説明～

【説明要旨】

<平成22年度一般会計当初予算要求概要(武石地域自治センター・武石地域教育事務所)>

担当課	款名称	主な要求内容	備考
地域振興課	総務費	気象観測装置(H9導入装置)修繕料	
		わがまち魅力アップ応援事業補助金 上乘せ分	地域予算 (直接要求予算)
		おねり挙行事業負担金	〃
	消防費	地下式防火水槽工事(市之瀬) 防火水槽甲蓋工事(鳥屋)	
市民生活課	総務費	自治会防犯灯新設補助金 鋼管ポール3基、電柱7基	
		自治会防犯灯電気料補助金 367基	
	衛生費	新エネルギー活用施設設置補助金 ・太陽光発電4kW×8件 太陽熱利用 5件	
		生ごみ処理機器等購入費補助金 (H22から補助額変更予定)	
住宅費	特定目的住宅(片羽団地)3棟 内装リフォーム工事 市営住宅(上沖団地)フェンス、管理道路舗装工事		
健康福祉課	民生費	うつくしの湯、雲深荘特別招待、雲深荘利用補助金 (H22で終了)	地域予算 (直接要求予算)
	衛生費	依田窪病院会計負担金 借入金の返済が増えてきたため前年比2000万円増(交付税措置される)	
産業観光課	農林水産業費	水田営農推進機械施設等導入事業補助金(4/10補助) コンバイン購入、米乾燥施設、酒米施設	
		市単独土地改良・農地保全対策事業(水路改修) 余里100m×2か所、七ヶ500m、築地原300m、	地域予算 (直接要求予算)

		沖 200m	
		有害鳥獣駆除報償金 シカ 1頭 10000円×110頭	
		有害鳥獣駆除対策事業補助金（熊学習放獣分ほか）	
		有害鳥獣駆除対策 防護柵設置（原材料支給） 上小寺尾 1500m、下小寺尾 2000m、余里 1000m	
		松くい虫伐倒駆除、松くい虫樹幹注入剤購入	
	商工費	武石商工会補助金 丸子町商工会との合併によりゼロ	
		番所ヶ原スキー場リフト券補助金（H22で終了）	地域予算 (直接要求予算)
		雲溪荘暖房用ボイラー改修工事（老朽化による）	
		うつくしの湯ミストサウナ・ドライサウナ内装改修工事	
		番所ヶ原スキー場第1リフト建設工事 第1リフトを山側へ移動・ペアリフトの設置、ゲレンデ 1面バーン化、スノーマシンの配管替、雪上車の更新 余里観光トイレ新築工事	
建設課	土木費	交通安全施設整備工事、道路整備、測量作図等委託、道 路新設改良工事、河川用悪水路改修工事（すべて枠予算）	地域予算 (生活関連予算)
		デマンド交通機器更新（H18導入）	
教育事務所	民生費	武石児童館等運営事業委託料・学童保育委託料	
	教育費	武石小学校 校庭の土入替・給食室床改修工事	
		武石小学校 屋内運動場新築工事	
		武石小学校 給食室備品購入（食器洗浄機、野菜洗浄用 のオゾン水発生器）	
		文化財保護補助金（おねり行事）	地域予算 (直接要求予算)
		スポーツクラブ運営委託料（事業費補助に切替えて、増 額要求）	
屋内ゲートボール場 屋根取替え工事			

【質疑・意見】

（会長）これについては、まだ要求段階であるということだが、質問や意見があればお願いしたい。

（委員）新エネルギー活用施設設置補助金は、具体的に要望が上がっている件数なのか。

（市民生活課長）具体的な要望数ではなく、あくまで予測数である。

（委員）市営住宅のリフォームについては、毎年予算が上がっている。特に今回の片羽団地は老朽化が進んでいると思われるが、利用率はどうなのか。

（市民生活課長）片羽団地は最も古い住宅であるが、現在はすべて入居している。今年度は1棟で屋根のふき替え工事をしており、来年度は内装のリフォームを行いたいと思っている。

（委員）建物の老朽度、入居者のニーズ等を考え、リフォームする価値があるのか再検討していただきたい。将来にわたってこのような住宅が必要と考えるならば、新築等を検討していった方がではよいのではないかと思う。

（委員）太陽光発電や生ごみ処理機の補助金は、予算の範囲内で先着順になってしまうのか。

（市民生活課長）H21は申請件数が多く、補正した経過がある。設置し申請してもらえれば、対応できると思う。

（委員）依田窪病院の負担金が、前年度に比べ2000万円増えている理由は何か。

（健康福祉課長）H20に導入したアンギオという心臓の装置（1億4000万円ほど）の償還が今年度から

始まっているのがいちばんの理由である。増額した 2000万円は交付税に算入されるため、一般財源の支出は前年度に比べ、20数万円減っている。

(委員) 松くい虫防除対策については、今後は空中散布から樹幹注入に移行するということか。

(産業観光課長) 平成 22年度は、空中散布の中止が決まっている。22年度は樹幹注入 580本分を計上しており、伐倒駆除をあわせて実施していく。

(委員) 余里の観光トイレの具体的な場所や規模はどうなっているのか。

(産業観光課長) 杉原橋手前のゲートボール場跡地へ延べ床面積 30㎡程度のものを計画している。

(委員) 番所ヶ原スキー場のリフト建設工事の財源はどうするのか。また練馬区との関係はどうか。

(センター長) 武石開発公社は、市内地域ごとに運営している 4公社の統合(来年 10月)や公益法人制度改革(平成 25年 12月)など、現在難しい問題を抱えている。そうした状況の中で、練馬区立武石少年自然の家や美ヶ原高原料金所管理の際の収益など約 3億円程度の利益剰余金があり、それらを統合してしまうと武石地域で使えない可能性があったり、収益事業に使えなかったりという問題があり、来年 9月末までにこの剰余金をどうするか決める必要があり、現在、剰余金検討委員会で検討協議を行っている。番所ヶ原スキー場は、練馬区民利用(学校スキー指導含む)が 75%を占めていること、自然の家の継続のためにもスキー場を継続することには非常に意味があること、設置から 26年経過し更新時期にきていること、開発公社に剰余金があることなどを踏まえ、今回のリフト建設工事を計上した。財源はまだ未定であるが、検討委員会で剰余金を市へ寄付してそれに充てるという結果になるかもしれない。ただし、現在上田市は不況の下、法人税収入が減っており、来年度予算はたいへん厳しいものになると予想されるので、市長査定の段階で削られる可能性はある。練馬区側としてもスキー事業は続けていきたいという区長の意向はあるが、再確認を含めて、市長査定の前に確認はしたいと思っている。

(委員) ともしび公園に幼児向けのブランコを設置してもらいたい。また、ともしび博物館には灯りにまつわる貴重な版画が多数保管してあると思うが、しっかりした保管ができる施設にしてもらいたい。

(委員) 有害鳥獣駆除報奨金は、有害鳥獣駆除実施期間だけなのか。

(産業観光課長) 有害鳥獣駆除実施期間の捕獲に対して支払うもの。狩猟期間は除く。

(委員) 圃場整備関係の用水路・排水路関係の具体的な場所は決まっているのか。

(産業観光課長) 市単独の水路改修として、余里 100mを 2か所、七ヶ 500m、築地原 300m、沖 200mを予定しており、自治会等から要望のあった箇所である。

(委員) スポーツクラブ委託料の今後の見通しは。

(教育事務所長) 当初は、H22は 40万円、H23は 20万円、H24はゼロと委託料を減額していく予定だったが、他地域のスポーツクラブや体育協会の関係から、体育協会のない武石地域として 22年度は委託料の増額を要望した。

(委員) 以前あった図書室の増床の計画はどうなっているか。

(教育事務所長) 上田市図書館計画の中では、丸子図書館の建設(カネボウ跡地)と丸子図書館武石分室の設置は決まっているが、詳細は未だ決まっておらず、丸子図書館建設後になると思われる。

(委員) 今はエコール事業もあり、上小の図書館にある本ならどこでも借りられるので、増床する必要はないような気がする。ただ、児童書は子どもを連れていき、実際に目で見たいので充実させてほしい。

(センター長) 図書館は、本の貸し借りだけでなく学生たちの学習の場にもなる。武石地域にもそのようなスペースを確保できればよいと思っている。

(委員) 地域予算の直接要求予算と枠予算について説明してほしい。また武石の地域振興基金の残額は。

(地域振興課長) 直接要求予算は、本庁担当課を通さずに自治センターから直接財政課へ要求する予算で、財源は武石の地域振興基金が充てられる。枠予算は、道路整備や土地改良事業など地域の状況を見て地域ごとに配分される予算で、財源は一般財源である。基金の残額は、およそ 3億 6000万円程度である。

(委員) 有害鳥獣駆除対策事業補助金の「熊学習放獣」とはどんなものか。

(産業観光課長) 捕獲したクマを麻酔で眠らせて山中へ放すための費用で、今年度、軽井沢の団体へ 1件お願いした経過がある。クマは絶滅危惧種になるため、原則獲ることができない。

(2) 武石地域公園化構想について

(会長) 公園化の取り組みについて、前回までの協議を踏まえて事務局でまとめいただいたので、それについて説明をお願いしたい。

(地域振興課長)

前回の協議会において、会長から地域協議会で方向性や内容をまとめ、できれば12月の自治会長会へ提言していきたいという話があり、事務局でまとめさせていただいた。構想の理念については、上田市総合計画の地域まちづくり方針中「武石の地域特性と発展の方向性」に書かれていることに関連づけている。

～ 資料に基づき説明 ～

【説明要旨】

< 武石地域公園化構想の理念 >

武石の雄大な自然、美しい田園風景は、住民はもとより来訪者にも安心と癒しの空間になっている。この豊かな自然を生かし、次の世代に伝えていくため、武石全域を大切に保護し、自然、自治会、行政が気持ちを一いつにして、市民協働により地域づくりを進めることが必要である。武石地域協議会は、この構想を武石の新しい地域づくりの方向として提案し、人と自然が共存し、住んでよかった、訪れてよかったと実感できる地域づくりを進める。

< 具体的な取り組み >

- ・自治会等（高齢者クラブ、育成会、スポーツ団体等も含む）と協働した事業の推進
- ・武石全域や自治会ごと、地域ごとに花木を選定して植栽を推進
- ・地域が誇る自然、歴史ある箇所の整備・保全の検討
- ・地域の清掃、不法投棄の防止、建物や看板等の規制などルール作りの検討
- ・わがまち魅力アップ応援事業の活用、地域振興基金持寄基金を活用した支援策の検討

< 今後の進め方 >

構想を具体化するために、自治会をはじめ各種団体に働きかけを行う。

12月) 武石地域協議会から自治会長会においてこの構想を提案。新自治会長への引継ぎ、各自治会の会合での報告を依頼

1月) 新自治会長会において再度協力依頼。2月までに自治会の意向を集約してもらうよう依頼

2月) 各自治会の意向を集約。地域協議会で協議し、意見書としてまとめるよう検討

3月) 武石地域協議会として意見書を作成し、市長へ提出

【質疑・意見】

(会長) ただいま説明いただいた内容について、意見等があればお願いしたい。

(委員) 具体的な取り組みの中には、「自治会等」とあるだけで、自治会以外の取り組みが載っていないがよいか。

(地域振興課長) 現在も高齢者クラブや育成会など自治会以外で花の植栽・手入れの活動をしている団体もあり、それらを含めて「自治会等」と表現している。

(会長) 地域協議会は、発想・提案をする場であり、実践は自治会、各団体、住民になってくる。地域協議会としては、実際に地域をつかさどっている自治会にまず提案することが、私どもにできる範囲だろうと思っている。

(地域振興課長) もし、これを実行する段階になったら、実行委員会なり推進委員会なりの会をつくってやっていけばよいと思う。

(会長) 他に意見がないようであれば、12月及び1月の自治会長会において、この内容で私のほうから提案していきたいと思うがよろしいか。

- 意見なし、内容について承認 -

6 その他 特になし

7 閉会（小山副会長）